

## 平成25年度第2回議会報告会（市民と議会のつどい）実施報告書

開催日時	平成25年11月17日（日） 10時00分 ～ 12時00分	
開催場所	木津南中学校（多目的ホール）	
担当議員	班代表者	中野 重高
	司会者	長岡 一夫
	報告者	山本 和延
	記録者	吉元 善宏・炭本 範子
	班員 （上記以外）	高味 孝之
一般参加者数	4 人	
主な質疑・意見等	<p>○ 「議会だより」について  Q：「Q」に質問議員の名前を書いてはどうか。どんな思いか、考えがぶれていないのかを知りたい。  A：字数・行数が限られており、紙面の都合がある。広報委員会へ報告する。</p> <p>Q：広報紙の裏面に議長名が抜けている。9ページの下段に議長名を入れてはどうか。  反対討論が多く載っているのに、なぜ賛成討論は少ないのか。2ページには特定の人の名前が多い。  A：裏面は印刷業者名を明記するか、議長名にするか議論はあった。広報委員会に伝える。  9ページについては、議長は採決に関わらない。  反対討論を行い、その次に賛成討論になる。すべて賛成討論があるわけではない。紙面では討論のある場合はすべて掲載している。</p> <p>Q：委託事業や指定管理が多すぎるが、不都合が起こらないか。例えば、検診事業、医師会に入られなかった医師は仕事ができないと聞くが、どう考えるのか。市が医院を指定すればよいのではないか。患者にすれば利便性がない。  A：チェックはしていかなければならない。医師会の内容には議会は関われない。</p> <p>Q：8件の自由討議があったのに、1件も提言できなかったのは残念に思う。提言に向けた議員間の妥協も必要では。  A：提言課題は会派・個人から提出されたもので、合議を目指した。  できなかったのは残念に思う。議員間で討議をするという事も議会基本条例の中で組み込んでいる。議会として重みをつけて、全員一致で出せるよう進めていきたい。</p>	

<p>主な質疑・意見等</p>	<p>Q：4ページの決算特別委員会。民生費が増えている。公債費（返済金）もあり、市債（借金）もある中で行革をどう進めていくのか  A：福祉関係で、医療費、生活保護等増えている。市単費事業は少ないが、国や府の事業が多くある中で、補助金を受けて市民の安心安全のために事業を行っている。  保育園等民営化などで人件費を減らす。今後どう進めるかが課題。</p> <p>Q：農業委員の選出について、女性農業士の選び方はどうか。  A：従来の選び方と同様である。</p> <p>Q：TPP交渉に関して、国は戦略特区として農業の法人化を進めている中で、農業を営む人に農業の法人化、農家を守るために行政が手を差し伸べて、弱体化にならない方策はないか。  A：農協に積極的になってもらいたい。  市では「京力農場プラン」事業で法人化や新規就農者の支援をしている。</p>
<p>その他特記事項</p>	<p>・環境問題（地球温暖化）の観点からエアコンの設置は反対、お金もかかる。雨水を利用する（シャワー）などで温度は2～3度下がる。代案を議員で示せ。</p>

上記のとおり、報告します。

平成25年12月2日

木津川市議会議長 西岡 努 様

平成25年度第2回議会報告会

第3班 代表者 中野重高 ㊟